

報 道 資 料

平成31年2月20日
(一社) 奈良県建築士会
担当：事務局長 有本
TEL：0742-30-3111

「奈良県景観デザイン賞2018」入賞作品について

このことについて、厳正な審査の結果別添のとおり入賞作品を決定致しました。

記

趣旨	奈良県の景観を魅力的にしている建築物や工作物などを設計・施工されている方や活動に取り組んでおられる方の努力をたたえ、「奈良県景観デザイン賞」として表彰することにより、景観について広く知っていただくことを目的とします。		
主催	(一社) 奈良県建築士会		
後援	奈良県、奈良県市長会、奈良県町村会		
協賛	(一社) 奈良県建設業協会、(一社) 奈良県建築士事務所協会 (公社) 日本建築家協会近畿支部奈良地域会 (一社) なら建築住宅センター		
審査委員会	審査委員長	長坂 大 (建築家／京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授)	
	審査委員	辰己耕造・二郎 (作庭家／庭師／庭プロデューサー)	
		寺地洋之 (建築家／大阪工業大学工学部建築学科教授)	
		森崎輝行 (建築家)	
		山本あつし (事業プロデューサー)	
〔50音順〕			
	第1次審査会	平成30年12月14日 (金)、15日 (土)	
	第2次審査会	平成31年2月4日 (月)	
応募数	35件		
審査対象数	35件		
選考方法	選考基準に基づき第1次審査会で全応募作品から8件を選考し、第2次審査で現地審査を行い、各賞作品を選考し、さらに、最も当賞に相応しいと認める1点を知事賞として選出した。		
受賞作品	別添のとおり		
審査員評	別添のとおり		
表彰式	未定		

【奈良県景観デザイン賞2018受賞作品】

リノベーション賞 ・ 「知事賞」

小南家のリノベーション

■所在地	吉野郡吉野町
■施主	奈良・町家の芸術祭HANARART実行委員会
■設計者	吉永 規夫(Office for Environment Architecture)
■施工者	N. P. O.

ランドスケープ賞

蛙股池の家

■所在地	奈良市
■施主	玉城 良憲
■設計者	小松建築設計事務所
■施工者	株式会社じよぶ

活動賞

桜井本町地区における「景観まちづくり&空き町家利活用」プロジェクト

■活動団体名	桜井市本町通・周辺まちづくり協議会 & 都市再生推進法人桜井まちづくり株式会社
--------	---

建築賞

天川の山荘

■所在地	吉野郡天川村
■施主	中山 雅博
■設計者	関谷 昌人
■施工者	ハンワコーポレーション

景観調和賞

朝日町のデンタルクリニック

■所在地	奈良市
■施主	竹原 創平
■設計者	株式会社一級建築士事務所カワバタマサヒロ建築設計事務所 川畑 昌弘
■施工者	株式会社アーキネット

「奈良県景観デザイン賞 2018」審査員評について

○審査概要（審査委員長 長坂 大）

第一次審査会は2018年12月14・15日、35の応募作品から書類選考によって現地審査を行う8作品を選抜した。第二次審査会は、年が明けた2019年2月4日。早朝に大和八木駅を出発して現地を訪れ、その後、最終選考会を行って十分な議論を経て以下の5作品を入選とした。

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| ・リノベーション賞・「知事賞」 | 小南家のリノベーション |
| ・ランドスケープ賞 | 蛙股池の家 |
| ・活動賞 | 桜井本町地区における「景観まちづくり&空き家利活用」プロジェクト |
| ・建築賞 | 天川の山荘 |
| ・景観調和賞 | 朝日町のデンタルクリニック |

現地審査を行ったが惜しくも最終選抜に至らなかった作品は以下の通りである。

- ・田原本の家
- ・永和町子供映画食堂プロジェクト
- ・高畑の家

知事賞となった「小南家のリノベーション」は、非常に小さなプロジェクトであるが、その「小ささ」が評価の対象でもあった。現地審査当日のインタビューによれば、この作品の総コストは15万円だそう。その厳密な査定はともかく、現地を訪れた審査委員にはわずかな手間と材料で作られていることがすぐにわかった。だが、その効果は目に見えて素晴らしい。まず、選択された空き家の位置がいい。吉野川が大きく蛇行するカーブのほぼ中央にあるため、デッキからの見晴らしが素晴らしい。次に、少し貼り出した床の下には盆踊りができるほどの土地があり、その位置関係もいい。こうしたスペースによって、多目的な活動の可能性が開かれる。最後に、空き家をぶち抜いたことで街路からの視界が新しく開かれた。家並みによって隔てられていた村のメインストリートは、吉野川へさらにその向こうの山々の風景へ、新たなつながりを持つことになった。この小さな板の間は、特別な行事にも利用できるし、日常的なコミュニティーバスの待合所としても活用されるだろう。

景観デザインは、小さなものでもそれに見合った効果を得ることができる。また、ひとつは小さくても、多くの人々がそのアイデアを採用し、それらが時間的空間的に積み重ねられれば結果的に大きな効果を生むこともある。そのバランスの良さ、アイデアの魅力が重要なのである。

「蛙股池の家」は、池に面した建築のありかたについて優れた提案性がある。塀を家の周りにめぐらせるのではなく、建物周囲の地面を法面とすることで、水面とスムーズにつながる風景がつくられている。敷地を視覚的に開放することで、逆に一定のセキュリティも確保されているだろう。単純な長方形プランと開口部の扱い方もそうした方針にふさわしい内容となっている。ランドスケープ賞の受賞作としたが建築賞も受賞可能な作品であった。

「桜井本町地区における「景観まちづくり&空き家利活用」プロジェクト」は、複数のコンバージョンプロジェクトを含む、優れた町の再生活動である。町家を改修したカフェ、銀行を改修したレストラン、明治の邸宅を改修した宿泊施設。老朽化したアーケードの撤去を軸に、行政も含めた多くの参加者を獲得し、後世に継承できる「活用される文化財」が実現されていることを評価したい。

「天川の山荘」は、コンクリートのチューブが大地に突き刺さる姿が印象的な作品である。前面道路からみると、敷地がそのまま川に向かって突き出したように見えて、背後の緑の山と岩肌が道路に向き合うように感じられる。建物を消す手法を用いた建築作品である。

新しい住宅地の角地に建つ「朝日町のデンタルクリニック」は、大きな切妻屋根とコーナーの開口部が印象的である。周囲街路に、待合室の雰囲気や伝わるように設計されていることに好感が持てる。

知事賞・リノベーション賞 小南家のリノベーション



ランドスケープ賞 蛙股池の家



活動賞 桜井本町地区における「景観まちづくり&空き町家利活用」プロジェクト

第一弾 桜町珈琲店

69

<構造> 木造2階建て <OPEN> 平成29年4月
 <延床面積> 85.51㎡ (1階:45.46㎡ 2階:45.46㎡)
 <整備方針> 住民アンケート調査で最もニーズが高かったカフェ
 旧青果店をもとに町家形式に修景し、多世代が交流できる居場所の機能を有する町家カフェとして活用できる拠点として整備する

<運営状況> 近隣の夫婦がカフェを運営 約40名/日
 朝～近隣シニア層、子育て主婦層 平成30年9月～町宿の朝食会場
 昼～近隣職域で働く人、来街者
 夕～高校生シニア女性層、団体貸切




第二弾 元吉野銀行桜井支店跡 → ル・フルドヌマン桜町吟

71




旧京都相互銀行+来迎寺土堀+伝統的な町家+対面には金澤家3軒がある東⇒西向きに撮影)
 ・道路OUTサイトに位置
 ・土堀との調和

駅から5分で本町通り入口から見える(西⇒東向きに撮影)
 ・全面空地の活用も可能
 ・伝統的な町家との調和

第三弾

74 明治時代の材木商 富田邸 → 高級町宿 櫻林亭

材木商邸宅(町宿)




推進まちづくりビジョン実現のための方向性を共有し、具体的な事業実施の段階へ

78

・机上の議論→現場で実践→小さなことから成果の見える化
 ・見えてくると→必要な人が集まる→生産が生まれる



条例が必要→士会を通じて、歴史的建造物委員会を発足準備中

建築賞 天川の山荘



景観調和賞 朝日町のデンタルクリニック

